

令和7年度 保育所自己評価

園名 吹田市立いずみ保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

元気な子～心も身体もすこやかに～
自分の思いを表現できる子
園・保護者・地域で手をつないだ子育てを

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	子供の人権を尊重し、一人ひとりを大切に保育を行った。
こどもの発達援助	A	子供の姿を職員間で共有し必要な手立てを行った。
保護者との連携	A	日頃から対話することを大切にし、参観や懇談会を開催できた。
地域との連携	A	体験保育や育児教室等、地域のニーズに合わせて支援を行った。
運営・管理、社会的責任	A	会議等で意見を出し合い園運営をすすめた。
職員の資質向上	A	会議や研修で学び合い専門性の向上に努めた。
安心・安全	A	ヒヤリハット事案は検討を行い、再発防止に努めた。毎月の避難訓練を実施し、危機管理を意識した。

今年度の評価

安心・安全な保育	危機管理についての学習や安全プロを立ち上げ、設備面も含めた教育・保育に関わるすべてのことについて、危機管理への意識を高め、職員の連携を大切にした。
身体づくり	各年齢の発達をおさえながら、豊かな生活やあそびを通して、身体づくりができるよう意識して取り組んだ。

来年度の目標

安心・安全な教育保育 身体づくり
